

2023年5月26日

「新型コロナウイルス感染症透析患者調査」に
ご協力いただいた医療従事者各位

日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会
新型コロナウイルス感染対策合同委員会

委員長 菊地 勘

副委員長 山川 智之

副委員長 竜崎 崇和

副委員長 南学 正臣

新型コロナウイルス感染症透析患者の症例登録及び 患者数報告の終了のお知らせとお礼

平素より、新型コロナウイルス感染対策合同委員会の活動に御協力を賜り、誠にありがとうございます。また、3年以上の長期にわたり、新型コロナウイルスに罹患した透析患者の症例登録にご協力いただき、誠にありがとうございます。

2020年3月1日に国内初の新型コロナウイルス感染症の透析患者が発生しました。その後、日本透析医会、日本透析医学会および日本腎臓学会では、新型コロナウイルス感染対策合同委員会（以下、合同委員会）を立ち上げて、感染透析患者数の調査を開始いたしました。そして、感染透析患者数や致死率、ワクチン接種の状況、抗ウイルス薬の使用状況などをリアルタイムに公開して参りました。

また、合同委員会では、新型コロナウイルス感染症に対する感染対策の情報啓発、合同委員会のレジストリーに基づき、行政との透析患者のワクチン優先接種の交渉や透析患者の感染対策に関する様々な交渉などを行って参りました。

皆様から非常に多くの症例登録をいただき、罹患状況の把握やワクチン接種と重症度や致死率との関係、抗ウイルス薬の投与と致死率との関係などを明らかにすることができました。また、透析患者の感染対策に関する政策についても大きく関わることができました。これもひとえに、多くの地域の皆様の積極的な症例登録へのご協力のおかげであり、深く感謝いたします。

2023年5月24日時点の累積の感染透析患者数19,939人の報告を持ちまして、症例登録及び患者数報告を終了させていただきます。今回、コロナ禍で非常にご多忙のところ症例登録にご協力をしてくださった医療従事者の皆様、周囲の方々に症例登録の啓発いただいた先生方に対し、心よりお礼を申し上げます。